

日本語の2人称代名詞⁽¹⁾の不使用

一日中対照の立場から一

李 奇楠

1. はじめに

日本語には2人称代名詞があるが、あまり使われていない⁽²⁾。どんな場合に使われていないのか、なぜ使われなくてもすむ(コミュニケーションが依然として成り立つ)のか、本稿はこの問題を中心に考察する。

2. 2人称代名詞の表現形式

日本語の2人称代名詞は英語の「you」、中国語の「你」、「您」よりマーカ一標識が多い。人間関係(親疎、上下など)や場(私的場か公の場か)の違いによって使い分ける。その表現スタイルは単数と複数の別に以下のように整理できる。

現代日本語の2人称代名詞

単数表現	複数表現
あなた／あんた	あなたがた／あなたたち／あんたら
君	君たち／君ら
お前(おまえ／おめえ)	お前たち／お前ら
貴様	貴様たち／貴様ら

このうち、単数表現も複数表現も上の言い方から下の言い方へ、また左に記したものから、右に記したものへむかって配慮の度合いが低くなり、より親しい関係や目上対目下、また公ではなく私的な談話の場における使用が比較的自由になる。例えば次の用例(1)～(5)である。それぞれの用例の後ろの<>の中に話者同士の人間関係などの語用論的要素に関する説明を示す。

(1) 通り過ぎた車が停車して、中からスーツ姿の人物が降り立った。

何と、その人物は、かの毛利衛氏であった。

「あなたはどうして宇宙へ行きたいの」

毛利氏は静かに尋ねた。

満天は父の言った言葉を伝えた。地球の美しさは、自分のこの目で見なければ分からない。自分は、この目でどうしても見たいのだと。

(『まんてん』上p. 116、下線は筆者。以下同様)

<話し手は毛利衛(もうりまもる)氏、聞き手は満天。初対面。毛利衛氏は宇宙飛行士、日本で初めてスペースシャトルに乗って宇宙へ行った人。満天は18歳の少女で、「いつか宇宙に行きたい」という夢を抱いている。>

- (2) 千春や源三ともみ合っていると、母の美帆子も現れた。

「満天、何であんたがここにおるとね!？」

一ちよっ、しもた。お母ちゃんに見つかってしもた。満天は、思わず気まずい顔をした。

(『まんてん』上p. 13)

<話し手は母の美帆子、聞き手は娘の満天>

- (3) 「キミは、仕事を辞めたらアカンのや。ええか。キミは『宇宙からの天気予報』を実現するその日のために、ひたすら技術を磨くべきなんや。たった一日でも、休んだらあかんのや。そのためには、ボクが子育てするのがいちばんええんやということが、今日、分かった」

(『まんてん』下p. 231)

<話し手は満天の夫の陽平、聞き手は満天>

- (4) 「おい、千春、おまえ辞めんかよ」

「兄ちゃんこそ、辞めんかよ」

やおら、兄妹喧嘩が始まった。

(『まんてん』上p. 13)

<話し手は兄、聞き手は妹の千春>

- (5) 「おまえが、そんなにアホやとは思わなかったわ」

中島は陽平に、そう言い残して転勤していった。

(『まんてん』下p. 233)

<話し手中島は聞き手陽平の高校時代からの友人。男同士の会話>

上記例(1)の場合、話し手と聞き手は初対面で、話し手は聞き手より年が上だから、「あなた」を使っている。例(2)の場合、話し手と聞き手は親子の関係であり、話し手は母親だから、よりくだけた言い方「あんた」を使っている。例(3)は話者同士が夫婦の関係で、話し手は夫のほうだから「キミ」を使っている。例(4)は兄妹の関係、話し手が兄だから「おまえ」を、例(5)は高校時代からの友人、男同士の会話だから、同じく配慮不用のくだけた言い方の「おまえ」が使われている。日本語の2人称代名詞使用のバラエティー現象を呈している。

3. 擬似2人称代名詞

日本語では上記のような2人称代名詞は使われていなくても、2人称代名詞の代わりに、親族名称、地位名称、職業名や名前などが使われるケースが多い。

この点に関しては、鈴木(1973)に詳しい論述がなされているので、省略するが、中国語との違いについてだけ言及しておきたい。

日本語は目上の人聞き手である場合、ふつう「あなた」(「きみ」「おまえ」はもちろんのこと。)を使わない。しかし中国語ではふつう2人称代名詞「你」(北方の地域、特に北京では丁寧な言い方「您」を使うことが多い)が使われ、あるいは親族名称、地位名称、職業名や名前などと共に使われるのが一般的である。例えば次のような例(6)、(7)、(8)がある。

- (6) 偏偏不识时务而又喜爱直言的倪萍转过来说她的刚刚剪过发的头，直视着倪吾诚问道：“爸爸，您不喜欢吃菜粥了吧？您说您喜欢吃菜粥实际上咽不下去了吧？菜粥没有饭馆里的鸡鸭鱼肉好吃是吧？您咽不下菜粥有点发火了吧？您不乐意了就挑我们姐俩的毛病了是吧？”(時と場所柄、前後の見境も弁えずズバリきつい言を吐く倪萍が、散髪したての頭を振り向けてパパの顔をジッと見つめながらいった。「パパは菜っば粥が嫌いなものね？好きだなんていって、ほんとは喉を通らないんだわ。料理屋の肉や魚のほう美味しいもんね。菜っば粥が不味いから私と倪藻にお小言いうのよ

ね)」

(応報)

- (7) 倪萍就是这样，她同情每一个人，关心每一个人，为每一个人操心，为每一个人揪心。她曾经不止一次地问她亲爱的姥姥，姥姥，您还能活多久？您什么时候死？有时候姥姥犯困打盹，刚睡着就被倪萍推醒了。姥姥呀，您突然不说话了，我跟您说话您也听不见了，您的嘴也没闭上，流着几滴口水，可把我吓坏了，我以为您死了呢。(倪萍はこうして誰にでも同情し、心配し、誰のためにも胸を痛め気を柔み、婆ちやまは何時まで生きられるの？何時死んじゃうの？としきりに訊ねるので、せっかくウトウトしはじめた婆ちやまを揺り起こしてしまう。ネエ婆ちやま、急に黙らして、ウチの話きいておへんの、口開いたまんまヨダレなんぞ出して、怖いよ。急に死んじもたか思うぞね。)

(応報)

- (8) 什么什么？倪先生您这是怎么了？您怎么不早说？(な、なに？倪吾誠さん困りますね。もっと早くそれを言って下さらないと。)

(応報)

上記の例(6)、(7)、(8)には、原文の中国語はいずれも2人称代名詞「您」が使われているが、日本語のほうは2人称代名詞が使用できず、親族名称の「パパ」「婆ちやま (祖母ちやま)」や、名前にさんをつける「倪吾誠さん」などが、2人称代名詞の代わりに使われている。

2人称代名詞の代わりに使われた親族名称、地位名称、職業名や人物の名前などについては、本稿ではそれらを擬似2人称代名詞と一括して呼ぶことにする。それらはいずれも日本語においては、臨時的人称代名詞の役割を果たしているからである。さらに擬似2人称代名詞と呼ぶのは、聞き手を指し示すだけの機能を持つ「あなた」「きみ」「おまえ」類の純粹的な対称と区別しようという筆者の考えもある。親族名称、地位名称、職業名や人物の名前などは2人称代名詞だけではなく、3人称代名詞乃至1人称代名詞として使われることもあるし⁽³⁾、呼びかけ表現としても機能しているから、それらが2人称代名詞のように話し相手すなわち聞き手を指す場合、修飾語をつけて擬似2人称代名詞と名前も限定した方がよいと思う。しかもそれらの使用は

本来の2人称代名詞の代替結果であり、話し手の聞き手相手を見る目を反映しているとも言えるであろう。単純な話の相手ではなく、その人と話し手自身との家族の関係や相手の社会的地位、仕事性質など相手に属するアイデンティティー(独自性あるいは区別性)の認識も同時に行われているであろう。

4. 2人称代名詞の不出現の構文パターン

日本語には擬似2人称代名詞さえも使われない表現もかなり見られる。整理してみれば、主に以下(4.1節~4.7節)のような構文の特徴を持っている。それぞれ次の4.1節から4.7節まで詳しく述べることにする。

4.1 問いかけ

聞き手に関する事柄を問う場合、2人称代名詞を使わない表現が多い。中国語と比べてみれば、日本語の方が、より2人称代名詞の不使用の傾向が強いようである。この「問いかけ」の場合における日本語の典型的例文を以下の枠に掲げ、その後に実例を挙げる。

田中さんですか? / お元気ですか? / お名前は?

- (9) 沙鍋居的伙计弓腰站在那里似乎不想离去。您还要点什么? 他的这话里包含着潜台词, 他是在责备这二位穿着体面的老小爷儿们叫的菜太寒酸。 / 沙鍋居の給仕は前屈みに側に立ったまま、離れようとしな^い。他に何か? との含みは知れたこと、立派な成りをした老若二人の旦那方が、みみっち過ぎる注文ではないか、と暗になじっているのだ。(応報)
- (10) 伙计笑呵呵地说。您来壶香片还是龙井? / 店員は愛想よく笑って、ジャスミン茶になさいますか、それともロンチンに? (応報)

例文(9)(10)は中国語には「您」があるが、日本語に訳されると2人称が示されない。同じく相手への問いかけの発話機能を果たしていて、中国語の場合、2人称代名詞が言語化されているが、日本語の場合は、言語化されていない。

4.2 命令表現(依頼・要求・命令)

相手に何かをしてもらう場合、口調の強い命令表現から婉曲的な柔らかい表現の依頼までいずれも2人称代名詞を使わないケースがある。4.1「問いかけ」と同じように、この広義の命令表現、つまり依頼や要求や命令などの場合における日本語の典型的例文を以下の枠に掲げておき、その次に実例を挙げる。

少々お待ちください。／とまりなさい。／待って。／来てほしい

- (11) 「おれはもう鹿苑寺の預りもんやで、一人前になるまで、訪ねて来んといてほしい」／“我已经是鹿苑寺的人了，在我成人之前，你还是尽量别到这儿来吧。” (金閣寺)
- (12) 「あんまりこんなところへ来ないほうがいいと思うわ」とまり子は言ったのである。「あんたはまじめな人だもの。そう思うもの。深入りせんと、まじめに商売に精出したほうがいいと思うわ。来てほしいことは来てほしいけど、私がこう言う気持、わかってもらえるわねえ。あんたが弟みたような気持がするんだもの」／“这种地方你最好还是少来！”鞠子说，“挺正派的一个小伙子，不当往这里陷得太深！你说是不是。有精力不如好生经商，尽管我也希望你来……不知你是否领会我的这份心思？我是把你当成小弟看的呀！” (金閣寺)
- (13) “倪太太，您息怒……我们这里……”干咳的老头同情地、爱莫能助地示意，这里不是说他们的家务事的地方。／「倪夫人、どうかお気を静めて……ここは……」空咳の老人は、お気の毒だが手助けのしようもないといった顔で、そこが家庭のトラブルを語る場所でないことを暗示した。 (応報)
- (14) “我还有几句话，请您原谅，”／「もう少しお話があります。お許しください」 (応報)
- (15) 举着盅儿：“你喝！要不我揪耳朵灌你！”／「さあ、飲むんだよ！いやだ

なんて言ったら首根っこをつかまえてでも飲ませてやるから！」

(駱駝祥子)

このパターンにおいては、「お～ください」「～なさい」「～て」「～てほしい」などの構文形式が使われ、聞き手の行為を要求する文法化意味が含まれているから、2人称代名詞を使わなくてもよいのである。

中国語の場合、日本語のこのような文法化程度の高いマーカ―がそれほどないから2人称代名詞が多く使われるのではないかと思う。

とくに(12)にある「来てほしいことは来てほしいけど」というよう例だが、日本語なら2人称代名詞が使われなくても、誰が誰に来てほしいか、来るという動作主体とその「来る」という動作を求めている人はだれなのか、意味的にははっきりしている。しかし、その同じ意味の中国語の表現になると2人称代名詞「你」がなければ来るという動作主体が分からなくなるので、「尽管我也希望你来」のような2人称代名詞を使わなければならないことになる。

4.3 やりもらい表現

授受表現は日本語の特徴的表現の1つだと言える。「くれる」「あげる」「もらう」3系列の使い分けがあり、動作主や動作の受け手はその使い分けによって、話し手との関連で分かるので、人称代名詞の不使用になるケースが多い。次の枠にあるような発話がよく使われるし、その後の実例もこのパターンに属する表現である。

利用してもらえます。／お褒めいただいて恐縮です。

(16) “那就太好了，请您帮助倪先生与史太太联络一下，可以吗？”贝蒂小姐高兴地说。／「それは良かったわ。倪さんのために史太々と連絡を取っていただけますか？」ベティ嬢は執り成し顔にはしゃいで言った。

(応報)

(17) 「これから病院に行ってもらうわけだが、やはり何か持って行く方がいい

いかな」／“你这就去医院一趟。还是要带点什么东西吧？”

(あした来る人)

(18)「いやに心配してくれるんだな。どんなことがあっても僕だけは帰って来るよ」／“你还真够惦记的。哪怕天塌地陷，我也照回不误！”

(あした来る人)

(19)「氷水の代は受け取るから、下宿は出てくれ」／“冰水钱我收下啦，请你快搬出寓所。”“冰水钱我收下，请你从住处给我搬出去！”“冰水钱我收下。但你得从寓所搬走！”

(坊ちゃん)

(20)「いや、もうたくさん。タクシーを拾ってあげますから、お帰りなさい。」
／“不，已经够了。我给你叫出租汽车，你回去吧。”

(斜陽)

(21)「ねえ、あんた素直な人ね。素直な人なら、私の日記をすっかり送ってあげてもいいわ。あんた私を笑わないわね。あんた素直な人だと思うけれど。」／“啊，你是个老实人。要真是老实人的话，我可以把日记全都给你。你不会笑话我吧。我认为你是个老实人。”／“你是个老实人吧。果真是一个老实人的话，我把我的日记全部送给你也没关系。你不会讥笑我吧。我虽然一向都认为你是个老实人……”／“你这人很厚道，对么？你要是厚道人，把日记全给你都行。你不会笑话我吧？我觉得你为人很厚道。”

(雪国)

上記の(16)から(21)までの6つの用例、特にその下線を引いている部分に注目すれば分かるが、日本語の2人称代名詞の不使用と中国語の2人称代名詞「你」「您」の使用が対照的になっている。聞き手に向かってなにか動作の実行を求める場合、聞き手のために何かをする場合、さらに聞き手が話し手のために何かをする場合、日本語では3系列の授受表現の形式すなわち「～てもらう」「～てあげる」「～てくれる」のようなマーカーがあるから、いずれも2人称代名詞を使わなくても意味が十分通じるが、中国語ではその同じ事柄を表す訳の表現を読めば分かるように、2人称代名詞をふつう使うのである。2人称代名詞がないと、意味が不完全になったりして、非文となる

ことが多い。

4.4 丁寧な言い方

日本語では、話し相手のものやことなどを指す場合、接頭辞「お」「ご」の使用によって、相手に対する尊敬の意志を表明することで2人称代名詞の使用を避けることができる。また、相手に及ぼす行為を表現する場合、「お～する」のような話し手が自分側の行為を低く言うことによって、2人称代名詞が使われなくてもすむのである。例えば枠にある典型的な使用例やその次の(22)～(26)のような実例がある。

お話を興味深くうかがいました。／この服はお客さまによくお似合いだと思います。／ご迷惑をおかけいたしました。／お待たせしました。

(22) “我一定尽力帮您找到您的老朋友史福岗。”／「旧友の史福崗氏捜し、全力をあげてお手伝いしますわ」 (応報)

(23) “是的。美国人认为是他们在领导世界。我们接受了领导，便OK长，OK短起来了。这您就知道了，我们全家都是共产党员、革命者，惟独出了我这么一个不肖之子。”／「ええ。アメリカ人は自分たちが世界をリードしていると思っています。我々もそれを受容れて、OK, OKってわけですよ。これでお分かりでしょう。革命家、共産黨員揃いの一家で、僕だけが不肖の徒で……」 (応報)

(24) 座談会終了、人们准备离去。赵博士走了过来，略略前倾着身子，对倪藻说：“您想见史福岗或者他的太太吗？”／やがて座談会が終り、皆が席を立ちはじめると近づいてきて身を屈めていった。「史福崗か太々にお会いになりたいんですね」 (応報)

(25) “是啊，您认识他？”倪藻的眉毛一挑。／「ええ、彼を御存じで？」倪藻は眉をあげた。 (応報)

- (26) “我父亲要我来看看您。我带来了他的信，还有他捎给您和史福岗伯伯的一点小东西。”／「父の言いつけで御挨拶に伺いました。父からの手紙と、お二人への心ばかりの品を持参しております」 (応報)

上記の用例(22)～(26)の下線を引いたところを見れば分かるが、2人称代名詞不使用の日本語表現に対して、中国語のその対応部分、すなわち同じ意味を表す部分はいずれも、2人称代名詞が必要である。

さらに、中国語の場合、尊敬すべき相手に何回も「您(nin)」を使ってもかまわないが、日本語の場合、教職名や尊敬語の「される」などが使われ、2人称代名詞はあまり見られないのがふつうである。例えば次の(27)のような例がよく見られる。

- (27) 您是大学讲师，您去过欧洲，您讲课的时候常常提到国家、社会、世界、进步、文明、科学……怎么样才能使我们的国家我们的社会我们的世界走向进步科学和文明呢？／先生は大学講師で、ヨーロッパにも留学され、講義ではよく国家、社会、世界、進歩、文明、科学を論じられるじゃありませんか……我が国と社会をこの世界を、進歩的な科学と文明に向かわせるには、どうすべきでしょうか？ (応報)

例(27)は中国語には3つの2人称代名詞「您」が使われ、それぞれ対応する日本語の表現は2人称代名詞ではなく、教職名の「先生」と動詞の尊敬形の「留学され」、「論じられる」を通して、相手の属性や相手の行為などが分かる。

4.5 忠告・助言表現

相手のためになることを勧める場合、2人称代名詞が現れないこともふつうである。下記の枠にあるような典型的な使用例もそういう特徴を語っている。

発表した方がいいんじゃないですか。／発表したら。

- (28)「洋裁店はこの辺にずいぶん沢山あります。どこか洋裁店の一軒ででもお

ききになってみましたら」／“西服店这一带满街都是。您就找家西服店问问可好？”
(あした来る人)

(29) ナオミは下から熊谷の顔を見上げて、「ねえ、まアちゃん、ついでにも少し自己紹介をしたらどうなの？」／纳奥米仰视着熊谷说：“喂，阿熊，你顺便再多介绍一下自己怎么样？”
(痴人の愛)

上記 (28) (29) の2つの日中対照の用例からも分かるが、2人称代名詞に関しては、日本語の場合言語化されていないのに、中国語の方は普通使用されている。

4.6 あいさつ表現

日本語の日常生活において、次の枠に書いてあるようなあいさつ表現が頻繁に使われている。そこにも2人称代名詞は見られない。これに対して、中国語は異なる現象が現れている。そのどれも2人称代名詞がふつう必要になるのである。

こんにちは。／お帰り。／いつもお世話になっております。

(30) “您高寿高啦”，“您有福气啦”，“您身子骨挺硬朗啊”／「御長寿で結構ですな」、「お幸せで何よりです」、「実に矍鑠として……」 (応報)

上の例 (30) のように、日常生活でよく使われている、使用頻度が高いあいさつの表現は、2人称代名詞の使用 (中国語)、不使用 (日本語) の日中両語の対照的現象が目立っている。

4.7 終助詞の使用

このパターンの典型的例文をまず枠の方に示しておく。

何か落ちましたよ。／悪いけど、空いている席がないか、ちょっと見てきてよ⁽⁴⁾。

(31) “是的，这里只有他们的空房子。您大概很悲哀，您看不到老朋友了。”
贝蒂同情而又无可奈何地说。／「ええ、ここの住居は空き家も同然。が
っかりですね、旧友に会えなくて」ベティ嬢も残念顔だ。 (応報)

(32) “进来呀，有话跟你说！”她探出头来，半笑半恼的说。他慢慢走了进去。
／「おはいりよ、話があるのよ！」彼女が顔をだしてにと笑った。彼
はのろのろとなかにはいった。 (応報)

例(31)と例(32)の中国語の発話には2人称代名詞の「您」「你」が用いられている。それに対して、日本語の発話は2人称代名詞の使用が見られない。その代わりに、興味深いことにそれぞれ終助詞「ね」と「よ」の使用を通して、聞き手との関連を示している。

以上日本語の2人称代名詞の不使用について、それぞれどんな場合で使われていないのか、なぜ使われなくても意味が通じるのか、その発話機能およびその機能を担う形態的特徴を考察し、4.1節から4.7節まで7節に分けて論じてきた。それぞれの構文的特徴は単独で現れる場合もあるし、組み合わせさせて重なる使用の場合もある。いずれにしてもそれぞれの特徴的な言語マーカーを通して、聞き手目当ての対人的機能を果たし、2人称代名詞が使われなくてもコミュニケーションが成り立つのである。

5. おわりに

日本語では2人称代名詞の不使用にはいろいろな要素が絡んでいる。中国語と対照しながらその関連の要素の仕組みをある程度考察できたと思う。

本稿の第4章(4.1節～4.7節)では日本語の2人称代名詞がふつう使われない場合の諸条件、とりわけ形態的特徴を明らかにしようと試みた。

また、日本語では話し手と聞き手が親しい間柄や、目上から目下への関係、あるいは同位者なら、「あなた」「きみ」「おまえ」のような2人称代名詞が気安く使えるが、そのような語用論的条件がなければ、2人称代名詞は使いにくくなり、できるだけ使用を避けるようにするのではないかと考えられる。

本来日本語には英語の「you」や中国語の「你」など2人称代名詞のような専門用語がなくて、場所や方向を指示する名詞からの転用などという歴史的背景もあるから、そのことが日本語におけるいわゆる2人称代名詞の限定使用・不使用という現状に影響を及ぼしているのであろう。

注

- (1) この「2人称代名詞」の表記は『新版日本語教育辞典』や益岡(2000)、山岡(2000)などに依拠しており、本稿では1人称・2人称・3人称と、漢数字ではなく、アラビア数字で表記している。
- (2) 例えば、「代名詞の使用頻度はあまり高くない。とくに、1・2人称の場合は使わないのが普通である。」(『新版 日本語教育辞典』p.186)
- (3) 例えば次の3人称代名詞として使われる例。

9月17日は「敬老の日」です。遠く離れたおじいちゃんへ、ご近所に住んでいるおばあちゃんにも「いつまでも元気でいてね」のメッセージを贈ってみては？

- (4) 「よ」がなくても文としても成り立つ。「よ」は補助的機能を果たしている。「よ」が用いられると、話し手の相手に訴える強い意志が読み取れる。

用例出典

『まんてん』(2002) NHK連続テレビ小説(上巻、下巻) マキノゾミ作、梶本恵美ノベライズ NHK出版

『中日対訳コーパス』(2003) 北京日本学研究中心

(中国語の部分：『応報』(王蒙)、『駱駝祥子』(老舍))

(日本語の部分：『金閣寺』(三島由紀夫)、『あした来る人』(井上靖)、『坊ちゃん』

(夏目漱石)、『斜陽』(太宰治)、『雪国』(川端康成)、『痴人の愛』(谷崎潤一郎))

参考文献

池上嘉彦(2007)『日本語と日本語論』筑摩書房

遠藤織枝編(2001)『女とことば』明石書店

遠藤織枝編(2006)『日本語教育を学ぶ』三修社

- 奥田靖雄(1984)『ことばの研究・序説』むぎ書房
- 現代日本語研究会編(1997)『女性のことば・職場編』ひつじ書房
- 現代日本語研究会編(2002)『男性のことば・職場編』ひつじ書房
- 小池清治等編(2002)『日本語表現・文型事典』朝倉書店
- 小林美恵子(1997)「自称・対称は中性化するか?」現代日本語研究会編『女性のことば・職場編』pp. 113-137 ひつじ書房
- 小林美恵子(1999)「自称・対称代名詞とその省略—映画『女人四十』にみる—」『研究誌ことば』20号 pp. 162-171 現代日本語研究会
- 鈴木孝夫(1973)『ことばと文化』岩波書店(特に「6. 人を表すことば」pp. 129-206を参照)
- 高橋圭子(1999)「日本語会話における対称詞—ポライトネス理論からの検討—」『研究誌ことば』20号 pp. 172-180 現代日本語研究会
- 日本語教育学会編(2005)『新版 日本語教育辞典』大修館書店
- 益岡隆志(2000)『日本語文法の諸相』くろしお出版
- 山岡政紀(2000)『日本語の述語と文機能』くろしお出版(特に「1・2人称形式と人称意味」pp. 16-25を参照)
- 徐昌華(2006)『語用・認知与日語学習(I)』北京大学出版社
- 徐昌華・李奇楠(2008)「認知モードから見た日中対照」『北京大学日語学科成立60周年国際研討会論文集 日本語言文化研究』第八輯 pp. 211-219 学苑出版社
- 朱徳熙(1982)『語法講義』商務印書館
- 李奇楠(2007)「関于“識解”」『日本語言文化研究』第7輯 pp. 171-184 学苑出版社

(り きなん・北京大学)